

第33回 法人会全国青年の集い大分大会の報告

令和元年11月8日(金)に第33回全国青年の集い大分大会が大分市で開催されました。全国の青年部会員を始めとする約2,500名(登録)が一堂に会し、当会からも3名が参加しました。

記念講演では、ファッションモデルでテレビやラジオ・雑誌など様々な分野で幅広く活躍されているアンミカ氏が、「ポジティブ志向～健康な心と体で未来を動かす」と題して講演されました。幼少の頃は容姿にコンプレックスを持っていたが、母親からの4つの魔法(姿勢・笑顔・目・会話)で克服できたことや、人材育成については、その人の個性を見極め、過度に期待しすぎないこと、その人の怒りの沸点を知ることにより、何をされたらいやなのかを知ることも大切であると話されました。日頃は、ネガティブになる場面に多々遭遇しますが、この講演を聞き、見方を変えればポジティブにとらえることができると実感しました。

大会式典は、星野大会会長の開会の辞に始まり、主催者である全法連青年部会連絡協議会玉川会長、全法連小林会長の挨拶に続き、来賓の国税庁課税部長、大分県知事、大分市長から祝辞を頂きました。その後、青年部会員増強運動の表彰や前日に行われた租税教育活動プレゼンテーションの審査結果発表があり、最優秀賞を受賞した熊本県連都城法人会青年部会による租税教育活動事例の発表が行われました。

「人を思いやり支え合う心～未来のために今、できることから始めよう～」をテーマに、納税道義を「人を思いやり、支え合う心」と表現し、子供たちが税を大切に思い、将来納めることを前向きにとらえ、行動するきっかけをつくることを重視した租税教育活動や、小学生向けバスツアーにて公共施設を巡り、職場体験や仮想通貨を用いたグループワーク等を通して税の使途や社会貢献について学ぶ場を創るなど、今後の租税教育活動の進め方について大変参考となりました。

式典の最後は、「豊の国おおいた」に湧き上がる温泉のように熱い思いとパワーを原動力に、子供たちがこの国に生まれて本当に良かったと思える日本の実現に向けて「法人会から日本を変える」という決意を表明した齋藤実行委員長の大分大会宣言で締めくくられました。

今回の青年の集いに参加して、法人会事業の柱である税制改正提言活動や青年部会を中心とする租税教育活動の全国展開等を通じて法人会の存在意義を確認し、法人会事業に携わる者としての誇りと自信を得、大いに意を強くしました。